

A S P ユーザー 外字の登録方法

□ カル側画面での操作(Win10)

① Windowsのスタートボタンより、すべてのプログラムから「アクセサリ」→「外字エディタ」を開き、最小化しておきます。

「アクセサリ」が見当たらない場合は、検索バーで「外字エディタ」と入力することでアプリが表示されるので立ちあげてください。

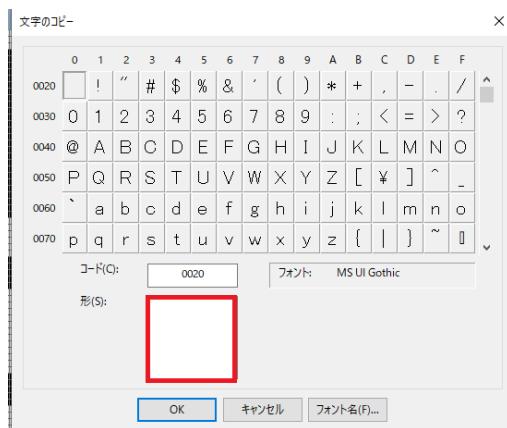
② Wordを立ち上げ、画面右下の言語バーからIMEパッドを開き、該当の漢字を検索してWord内に表示させます。

該当の漢字がない場合は、似た漢字を表示させることで、後からその漢字を修正し登録することができます。

③ ①で最小化してあった外字エディターを開き、「編集」→「コードの編集」をクリックし、「コードの選択」画面を表示させます。

④ どこでもいいので空欄をクリックし「OK」をクリックします。

⑤ 「編集」→「文字のコピー」をクリックし、「形」のマスをクリックし、②で表示させた該当の漢字をコピーし貼り付け「OK」をクリックします。

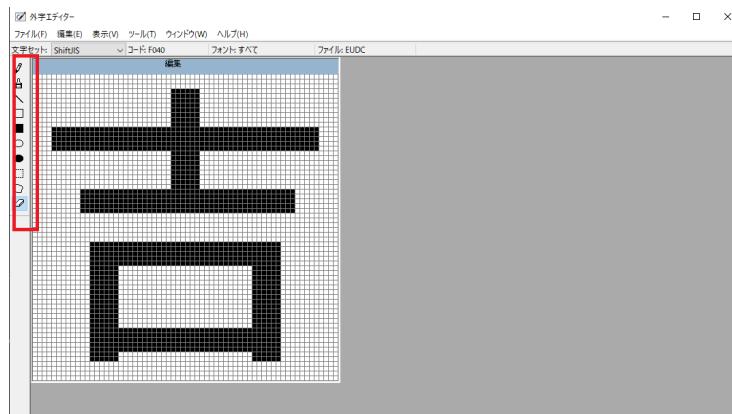


【注意】

貼付けができない文字もありますので、その場合は似た漢字を表示させ 次の行程で修正するか、⑤の行程は省いて、文字を一から作成してください。

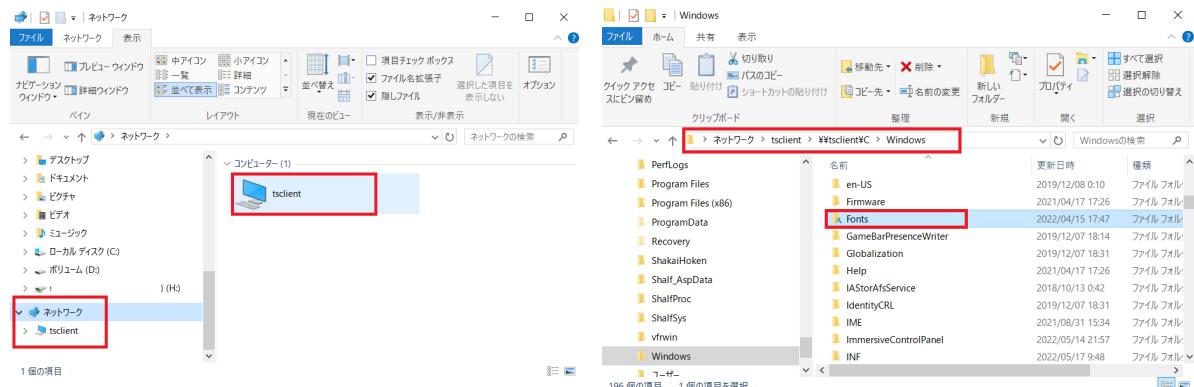
⑥ 修正を行う場合は、左側にあるツールを使い、ドット枠の表示を消すか塗りつぶすか変更します。

完成したら、「編集」→「同じコードで保存」をクリックし、外字エディタを閉じます。



ASP側（クラウドに接続した画面）での操作

- ① エクスプローラを開き、（H:）ドライブ内に新しいフォルダを作成し、フォルダ名を「Gaiji」にします。
- ② エクスプローラーの、「ネットワーク」から「tsclient」 - 「\tsclient\Windows」 - 「Fonts」フォルダを開きます。

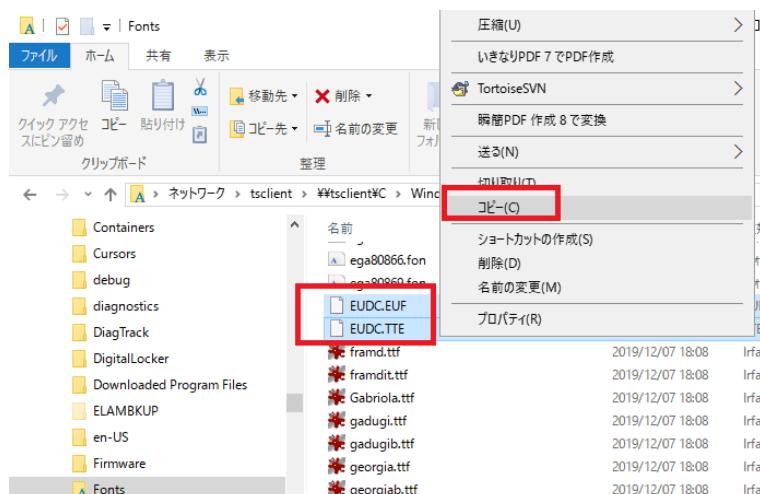


※Windows11を利用されているユーザーは、お送りした「font_for_shalf」をダウンロードして頂き、下記の手順にてFontsフォルダの作成をお願いいたします。

- 1) 添付の「font_for_shalf」圧縮ファイルを解凍して下さい。
- 2) その中に「font_for_shalf.bat」というファイルがあるので、そのファイルを右クリックで「管理者として実行」して下さい。
- 3) C:¥の中に「font_for_sh」というフォルダができます。
- 4) 「C:\font_for_sh」フォルダ内にある フォントファイルがコピーされます。

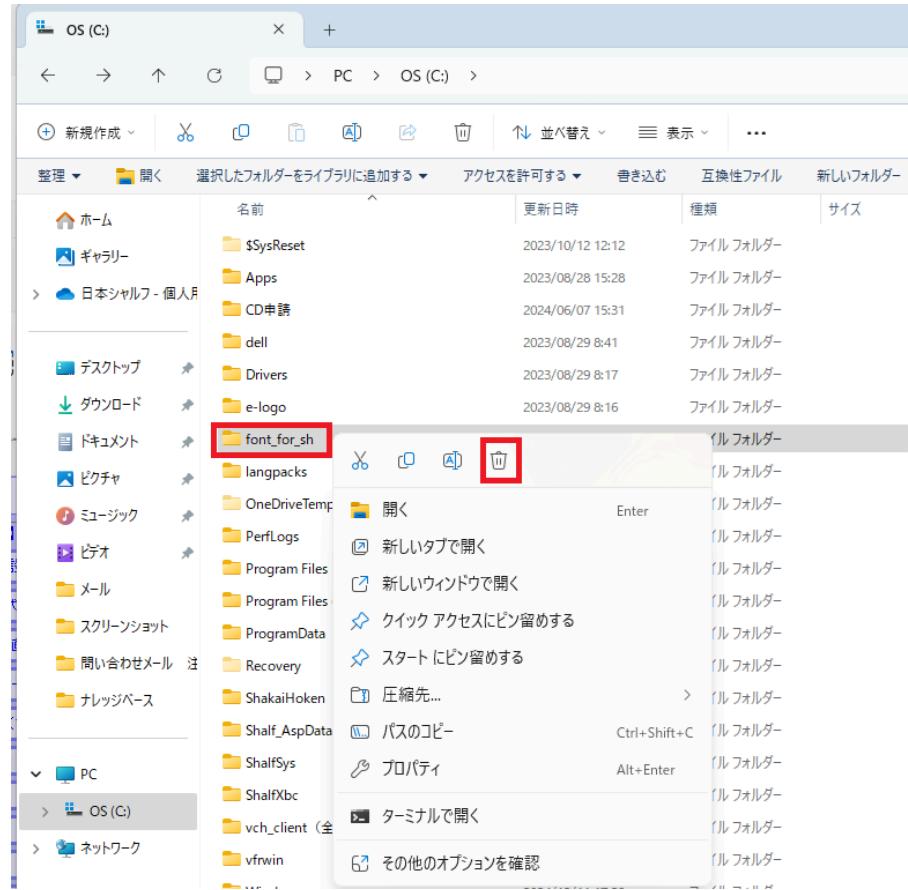
- ③ 「C:\font_for_sh」フォルダ内にある
EUDC.TTE
EUDC.EUF

2つのファイルを選択し、右クリックして「コピー」をクリックし、
①で作成したGaijiフォルダに貼り付けます。

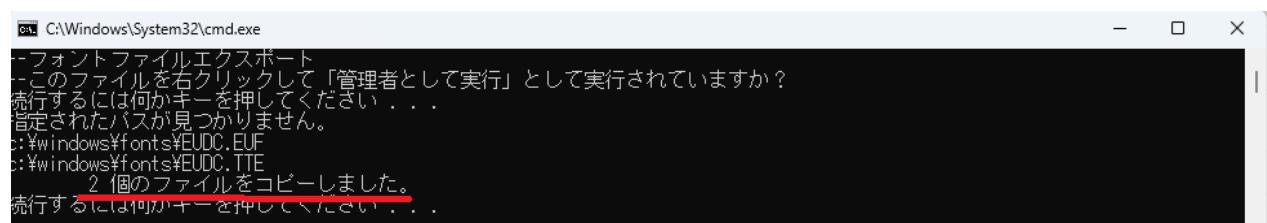


《注意》 「C:\font_for_sh」 フォルダ内にEUDC.TTEとEUDC.EUFができない場合

- ① 「C:\font_for_sh」 フォルダを削除します。



- ②再度、「font_for_shalf.bat」を右クリックで「管理者として実行」して下さい。
実行したときに、2個のファイルをコピーしました。と表示されていれば、
「C:\font_for_sh」 フォルダ内にEUDC.TTEとEUDC.EUFができます。



ここまで完了しましたら、日本シャルフサポートまでご一報ください。
登録された外字をサーバーへセットします。

セットが完了しましたらご連絡を差し上げますので、
シャルフにログインをしている状態であれば、サインアウト→ログイン を2回繰り返してください。

シャルフにログインをしていなければ、ログイン→サインアウトの後、再度ログインをしてください。

上記により、登録された外字が反映されます。

セットされた外字は

IMEパッド→文字一覧→シフトJIS→外字

から表示できますので、言語バーから「単語の登録」で、読み仮名登録をすることをおすすめします。